

租税教室（厚陽小学校）

厚陽小学校の6年生が、租税教室で税金のことについて学習しました。『租税』という言葉が、穀物を束ねてはぎとるという意味であることや税金の種類・分類、使い道など、税金の歴史や初めて聞く言葉にとまどいながらも、講師の説明を聞き洩らさないようしっかり聞いたりメモを取ったりしていました。また、税金が、学校の施設や教科書、ゴミの収集や処理など、身近なところで使われていることに驚いていました。最後に、見本の1億円の束に興味をそそられ、抱えてみてその重さを実感していました。



海岸清掃（高千帆中学校）

市の海岸漂着物回収及び清掃作業は、焼野海岸と縄地ヶ鼻海岸、津布田海岸において3年周期で行われています。今年度は縄地ヶ鼻海岸で実施され、高泊小学校卒業の高千帆中学校2年生30名が参加しました。代表生徒が、自分の住む地域が来た時よりもきれいになるようがんばりますとあいさつしてから、地域の方と共に活動しました。参加した生徒は、自分たちできれいにできてよかったとさわやかな汗を流しながら話していました。この体験が、ふるさとを愛する心や自己効力感を育むことにつながると思います。



恒例のもち米づくり始まる（埴生小中学校）

埴生小中学校では、起業体験学習の一つとしてもち米の栽培に取り組んでいます。今年度は、小学校5年生が初めて粳まきに挑戦しました。子どもたちは、地域学校協働活動推進員と地域ボランティアから、苗箱に培土を入れてから粳を均等に蒔くことや発芽しやすくするために覆いをするなどなどを教わり、ていねいに作業しました。振り返りでは「もち米の種があんなに小さいとは思わなかった」「土を均したり粳を蒔いたりするのがむずかしかった」などの感想が聞かれました。1か月後には中学生と田植えをする予定です。

